



本水発第36号
平成30年5月24日

本庄市水道事業審議会
会長 小林 猛 様

本庄市長 吉田 信 解

本庄市水道事業ビジョンの進捗について（諮問）

本庄市水道事業審議会条例第2条の規定に基づき、本庄市水道事業ビジョンに掲げた施策の取組状況及び今後の取組等について、貴審議会の意見を求めます。

1. 本庄市水道事業審議会審議経過

回数	開催日	審議内容等
第1回	平成30年7月31日	○委嘱状交付 ○諮問書の伝達 ○平成30年度水道事業の取組予定について
第2回	平成31年1月30日	○平成29年度水道事業会計決算について ○消費税率引き上げに伴う水道料金・加入金について
水道事業審議会委員改選（令和元年7月31日）		
第3回	令和元年7月31日	○委嘱状交付 ○令和元年度水道事業の取組予定について
第4回	令和2年2月21日	○平成30年度水道事業会計決算について ○平成30年度水道事業の取組実績について ○令和元年度水道事業の取組の進捗状況について
令和2年度		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により延期

2. これまでの審議会意見

（1）水道水の安全性の向上について（第3回審議会）

水源から給水栓に至るまでの各段階における水道水質の管理を徹底し、安全で安心かつ良質な水道水を安定的に供給することは、水道事業にとって何よりも重要な責務となっている。本庄市水道事業においては、水道水を供給する過程で水質等に影響を及ぼす可能性のある要因を抽出・分析し、そのリスクレベルごとに対応すべき管理方法を定めた「本庄市水安全計画」を平成31年3月に策定したところである。今後も、これまで以上に良質で安全な水道水の供給が確保できるよう、この計画に基づいた管理を行っていくとともに、計画の運用において生じた課題を整理し、必要な見直しを随時行うことで、さらなる水道水の安全性の向上に努めて欲しい。

（2）危機管理体制の充実について（第4回審議会）

近年、自然災害により水道施設が大きな被害を受け、市民生活に大きな影響を及ぼしている状況が各地で見られる。緊急時の飲料水の確保や水道施設の耐震化を図られるとともに、危機管理体制をより一層充実させ、災害に備えた対策の着実な実施を望む。

（3）市民への情報発信について（第4回審議会）

水道事業に対する市民の理解は、水道事業への安心と信頼につながるため極めて重要である。安定供給の取組や経営状況等の理解が得られるよう、わかりやすい情報発信に努めて欲しい。